

**2009 KCLC**

# IllusionIV

## 登場メカ解説

**Moneto**



**2009**

## 1. 迎撃兵R-1

---



迎撃兵R-1は、かつての大戦時、モーリア・フィアによって生み出された「R-0型機械兵」に、フィアの子孫であるモーリア・ダガーが強化を施したものである。

その名前が示す通り、城に侵入しようとしてくる敵を迎撃する任務に就いており、その腕の高さはかつての強化衛兵をも凌ぐほどであると言われている。

## 2. 防御兵マルコ

---



防御兵マルコは、かつての大戦時、モーリア・フィアの護衛に当たっていた守護霊マルコ(本編未登場)が肉体を得た姿である。普段は城壁に埋め込まれたセンサー(4つの丸い部分)のみが稼働しており、本体が姿を現すことはまずない。

だが迎撃兵のによる第一次の迎撃が失敗した場合、マルコ本体も現れ、各種迎撃兵および自己のセンサーなどとともに侵入者の排除を行うという。

## 3. 直属兵ヴェルス

---



直属兵ヴェルスは、ガドニック再誕の儀式を行った張本人である。そのことから、王を護衛する兵士としては最高の立場である「直属兵」に就いており、ガドニック王からの信頼も厚い。

性格は凶暴で、特に彼の使用する「天の三柱」は、今まで突破したものがたった2人(ガドニック王とモーリア・ダガー)といわれるほどに強力な兵器である。

## 4. ガドニック王

---



ガドニック王は、かつての大戦時に前線で衛兵を務めていた衛兵ガドニックが、直属兵ヴェルスによって新たな生命を吹き込まれた姿である。同時にモーリア・ダガーより天地爆閃の紋章を授けられており、その力はかつての何十倍、何百倍とも言われている。

大戦当時の記憶はそのまま残っているため、主人公に対する復讐を計画していたが、逆に返り討ちに遭ってしまい、それは失敗に終わってしまった。

## 5. モーリア・ダガー(エキストラボス)

---



モーリア・ダガーは、かつての大戦時に王として君臨していたモーリア・フィーアの子孫である。フィーア同様、影を自在に操ることができる。

フィーアが敗れ去った後、フィーアは自らの命と引き換えに彼に全ての力と、そして「天地爆閃」の紋章を託した。このときにダガーに与えられた力とはとてつもなく強大なもので、ダガーはその力の一部を使って「直属兵ヴェルス」を始めとする護衛兵士を生み出した。

彼が生み出した兵士には「天地爆閃」の複製紋章が刻まれており、その紋章に封じられた力を解放することで、自らの命と引き換えに強大な力を得ることができるようになっている。ダガー自身もその紋章をいくつか保持しているが、彼の場合は己の力を消費することなく、空間に漂う兵士の怨念などを一点に収束して得たエネルギーを使う。だが、彼の生命の核に刻まれている紋章、すなわちフィーアから受けついだ紋章だけは仕組みが違っており、これは己の力を100%解放するものである。それが発動したとき、この世界はどうなってしまうのだろうか。